

綱 領

われわれ JAYCEEは、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者相集い力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。

JCI こんにちは!! JCです。

発行 社団法人三木青年会議所
三木市本町2-1-18
電話 三木(0794)82-8826
FAX 三木(0794)82-9409
編集 社団法人三木青年会議所
総務委員会
印刷 ㈱前田精版印刷所

2008年度
スローガン

初志回帰

時代の牽引者として、
“真”JC創始の精神へ



2008年度
理事長
橋田 睦之

はじめに

本年度は、「初志回帰」時代の牽引者として、「真」JC創始の精神へ」をスローガンとして掲げ、活動を行って参りました。

現在の社会では、今までに有り得なかつた類の問題が我々を取り巻いており、ある意味でJC創成期と同じ様、日本の再建が必要な時期に来ています。

一方で、我々JCが活動する環境は創始の頃と比べ激変しており、これからの時代を率先して牽引していくためには、三木JCとしての活動の本質を見つめ直し、明確な目標と計画を持つ事が必要です。

そこで、これからの活動に必要なものは、創始の頃にあった明確な志、行動力、そしてその行動を支えていたメンバー個々が持つ「元気さ」であるとの考えの下、様々な事業に取り組みました。

まちづくりビジョン

ひとが生活する基盤となるのはまちです。では我々が暮らすまち・三木市での生活において、実際と期待して切迫した状態にある問題はありますか。恐らく、否、でしょう。そのような社会生活の中で今必要と

される市民活動に関わる各種団体には2つの種類があります。まずひとつは、実際の現場での草の根活動を行っている団体。もうひとつは、そういった現場活動を効果的に行いやすい基盤をつくる、中間支援活動を行っている団体。それらが相互に役割を果たしながら両輪となって、初めて市民活動は行政や地域に響き、貢献できるまちづくりになります。

三木市にとってのまちづくりとは、何をどのように取り組むべきなのか、ビジョンを明確にした上で、我々の特性を活かした実効性のあるスキーム(計画性のある枠組み)を構築するべきだと考えました。

そこで我々の特性を活かし、中間支援的な側面からまちづくりへの取り組みを行い、「地域と共に貢献できる構想」の構築を行いました。

結果、行政、我々JC、他団体のネットワークが生まれ、これからのまちづくりにおいて、有効な一手となったと確信しております。

青少年育成と創意教育

ゆとり教育の崩壊後、そこに残ったのは学力や倫理道徳心の低下だけではありませんでした。マニュアル思考が蔓延し、我々日本人の美徳であった、自らの力で考え知恵を絞り、行動する創意工夫の能力までも失いはじめています。

国際化がさらに進み、これまで以上に日本の底力が問われる時代。我々日本人が元々持っていた心や力の素晴らしさ、大切さを次代を担う子供たちに本気で語り継いで行かなければならないと考え、自らの力で考え、行動する創意工夫能力の向上に重点

を置いた取り組みを行いました。

折り紙飛行機という誰もが一度は作った事のあるものも、目的に応じ考え、工夫する事で得られる結果が全く違ってくる事を感じて頂けたと思います。遊び感覚の小さな気づきではありますが、子どもの頃に肌で感じた経験は、これからの人生において大きな糧となり、それぞれの夢の実現に向け、着実な一歩を踏み出す事が出来ると確信しております。

修練としてのビジネス

青年経済人である我々にとって、仕事とは直面する最大の修練と言えます。日々の積み重ねによって経済活動だけでなく精神や技術をみがき鍛え、自らを向上させるもの。そのような我々が最も直面している修練に対して、本気で「志」を持ち、「元気」を出して「行動」に移せている人が果たしてどれだけいるでしょうか。

また一方で、昨今、拝金主義や利益至上主義の行き過ぎによる歪みから様々な社会事件が起こり、あらためて企業倫理が問われています。

そこで、仕事という修練を通して、今一度青年経済人としての向上心や倫理観を見つめなおす機会を持つ事が今の時代には必要と考え、研修事業に取り組みました。

一年を通じ、意図する・発言する・行動する・精進するをテーマに掲げ、志、理念を持つ事の大切さについて学びました。参加したメンバー全てが、これまでの仕事に対する姿勢、また、仕事だけでなく、物事に対する取り組み姿勢について考えさせられるものとなり、これからの人生に

縁と友情

において、重要な気づきを得られた事を確信しております。

青年会議所の三信条のひとつとして掲げられている「友情」は「志」を同じうする者同士が、活動を通じて知恵を出し合い、汗をかき、泣き、笑い、感動を共にする事で、プラス(無限大)の力として育まれる心だと考えます。同世代の人間として膝をつき合わせ、心をさらけ出した生身の付き合い。そのような関係を築く事で、いざという正念場で共に力を合わせて乗り越える事が出来る真の友情を育めるよう、「感激・感応」出来る仲間づくりに取り組んで参りました。

育まれた友情が、生涯の友情として続いていく事を確信しております。

温故知新とこれからの方向性づくり

我々、(社)三木青年会議所は、50年に亘る活動の歴史において、先輩諸兄が行ってきた活動を振り返り、確認をする事で会員全員の気持ちを一とつにし、新たな取り組みを行って参りました。翌年に控えた50周年を前に、10年ごとの周年の歴代理事長から、節目、節目にどのように考え、取り組んでこられたのか、これからの歴史を刻んでいく我々に対してのメッセージをお話しいただきました。

また、組織運営では、一年という限られた時間の中で、より効果のある活動を行うべき我々が、その力を最大限に発揮出来る環境を目指した取り組みを行いました。

それぞれの取り組みが実を結び、未来が更なる豊かなものとなる事を確信しております。一年間お世話になりました。

2008年度

紹介
新入
会員

JC活動を通じて社会貢献の方法を多く学びたいと思います。



石原修三事務所
石原 功士

JC活動を通じ、スキルアップ出来るように精一杯頑張ります。



㈱小山金属工業所
佐々木良憲

まちづくりに貢献し、自分自身が成長出来るよう努力します。



㈱和田商店
和田 勇樹

今年は3人の方にご入会いただきました。これからも三木青年会議所では志高いみなさまのご入会を心よりお待ちしております。

ご連絡先：
三木青年会議所事務局
兵庫県三木市本町2丁目1-18
三木商工会館3F
TEL.0794-82-8826
FAX.0794-82-9409

1年間、お世話になりました!! ~各委員会、1年の総括~

青少年委員会

本年度青少年委員会は青少年の創意工夫の能力の育成に取り組みで参りました。夢の実現や目標達成に向けて考え、工夫する力を創意工夫の能力であると考え、男の子でも、女の子でも自分なりに考え工夫した結果が目に見えて表れる「折り紙ヒコーキ」と言う手法を用い、「みきっこ」紙フトタッチダウン、考え、工夫し、行動しよう、事業を9月6日(土)に三木勤労者体育館にて開催致しました。市内小学校の児童約100名を対象に、午前の部では日本折り紙ヒコーキ協会の戸田拓夫会長をはじめとする指導員の方々をお招きし、折り紙ヒコーキの作成講演、教室を開催。お話しに夢中で聞き入り、目を輝かせて折り紙ヒコーキをつくる子どもたち。作った折り紙ヒコーキで飛行距離、対空時間の競技を行い、自身の折り紙ヒコーキとの違いに驚き、創意工夫する事の大切さを学びました。



午後の部では紙フトタッチダウンと言う競技に挑み、各チームが知恵を絞って作戦に適した折り紙ヒコーキを作成し、試合運びやポジションなどを考え工夫し競技に臨みました。おわりに、考え工夫することで夢をかなえる事ができた三木市出身の著名な方々より頂いたビデオレターを上映しました。この事業を通じて、子ども達は、考



え工夫し続ける事で夢の実現や目標達成により近づけるという事を学び、それぞれの夢に向けたい一年間、ありがとうございました。

みきっこビジョン創造委員会

本年度みきっこビジョン創造委員会は、「自分たちのまちは、自分たちでつくる」という、まちを想う気持ちを一つにする事ができればと考え、まちを想う気持ち「三木魂」を合言葉に、実効力のあるまちづくりを目指し活動して参りました。そこで地域特性を生かし、柔軟な発想に基づいた構想を創りあげて行く事が、地域に貢献できるまちづくりになると考えました。



その様に考える中、我々がまちづくりに対し、何をどのように取り組むべきかビジョンを明確にした上で、計画性のある枠組みに基づき「地域と共に貢献できる構想」を創造しました。そして更に、まちづくり意識を高揚させ、実効力あるまちづくりを目指し、進んで行くきっかけとするため、9月に貢献できる構想と題し、行政に報告しました。他団体は基より、行政との信頼関係や、人的なネットワークの構築を行う事ができ、実効力あるまちづくりに一歩近づいたと思います。このネットワークが、まちを想う心「三木魂」をひとつにするきっかけとなり、地域が一丸となった「ひとつづくり、まちづくり」になると確信します。今後、我々の活動が更に地域に浸透し、地域に貢献できる活動が行えるよう、精一杯頑張りたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。



情報交流委員会

本年度情報交流委員会は、年齢や立場を超えた、本音の付き合いをする事により、「感激・感応」ができる仲間づくりをするため、活動を行って参りました。年頭の新年賀会には、多くの来賓の皆様にご出席を賜り、青年会議所運動に対するご理解と賛同を頂きました。5月には会員家族大会を行い、潮干狩りや地曳網を通して、普段はなかなかできない、家族間交流を行いました。



またメンバーそれぞれが持つ考えや想いなどを共有する事で、会員としての意識が高まる様に、会員向けのホームページを運営しました。最後に、多くの皆様のご支援を頂き、無事に一年間の活動を終える事ができました。心より感謝申し上げます。

会員研修委員会

本年度会員研修委員会は、意図する・発言する・行動する・精進するをテーマに様々な事業を行って参りました。3月にはビジョン、志を持つ重要性を学び、5年後の自分10年後の自分を描きました。さらに発言する場を持つという事で、毎月一回行政の若手の方たちとの意見交換会を行って参りました。毎月テーマを決めその事に対する自由討論を行う事で自分自身の考えが明確になり、意見を頂く事で考えがより深まっています。意見交換会は引き続き継続していきます。一年間本当にありがとうございました。



本年度総務委員会は、来年度の創立50周年に向けて会員の皆さんの意気を高めるために「感じ取れ! 創始の精神から続く想い」三木JC飛躍の50周年に向けて「事業を開催いたしました。この事業では、理事長所信の中の「初志回帰」という言葉に基づき、創立時から脈々と続く志、想いを再度確認し、会員に自らの活動方針について考えて頂きました。

特別委員会

また、会員拡大という事で、多数の新入会員候補者の方とお会いし、お話ししました。今年3名の入会人数的には少し寂しい思いはしましたが、たくさんの方と交流ができ、様々な業界の状況や、個々の価値観などがよく感じとられ、私自身も非常に勉強になりました。

JCに入っていないとできないことをたくさん経験させて頂きました。素晴らしい一年となった事に、ただただ感謝です。一年間、ありがとうございました。

総務委員会

本年度総務委員会は、三木青年会議所としての活動を円滑に、そして効果的に行う事ができるよう、「青年会議所活動に係る情報の共有化」と「活動しやすい内部環境を整える事」について、一年間、取り組みを行って参りました。また、広報活動ではホームページの運営と、広報誌の発行を行いました。

広報誌においては、我々の活動をわかりやすくお伝えするよう心がけて参りましたが、つたない文章も多く、十分にご理解いただけない記事もあったと思います。ご愛読いただきありがとうございました。来年で50年目を迎える三木青年会議所をどうぞ宜しくお願致します。

三木JCの歩み ③

次代を担う青年として、産業、経済、文化発展に寄与する事を目的として三木JCが産声を上げ、早50年を迎えようとしています。

地域内に限らず、広く社会の見地に立って活動する事で自らの視野を広げ、知識を深め、そしてまちを、企業を発展させたいと躍起になっていた創成期。

そして、景気は拡大の一途をたどり、高度成長期を迎える中、地域貢献を目的とする活動が多くなった繁栄期。やがて、景気は減速し、現在の我々を取り巻く環境は決して楽観視できるものではありません。

そんな中、JC活動においても、そのあり方を考え直す時期に来ているのではないだろうか。より効果の高い活動を、そして我々だからできる活動を。ただ、単独でやみくもに活動を行うのではなく、周りの意見に耳を傾け、より効果を高める事ができるのであれば、共催を視野に入れる。

まちを、ひとを、企業活動を良くしたいという信念を持ちつつ、柔軟性も併せ持った団体へ。これから必要とされるJC活動はそのようなものだと考えます。

三木青年会議所の主な活動

- 1990年 行政懇談会の開催。三木市の「都市づくり」ビジョンの策定と提言。指導力開発道場の開催。
- 1994年 畑正憲氏を迎え創立35周年記念講演会を開催。指導力開発道場では三浦雄一郎氏の講演とともに長距離歩行で精神力を鍛える。
- 1999年 40周年記念事業として、日本の子ども達を連れ、フィリピンでのジュニアGTSを開催。市内39か所に乾電池回収箱を設置、乾電池リサイクル活動を行う。
- 2000年 「民族音楽を通じ、異文化に触れ、思いやりの心を育む事を目的に「地球(ほし)の奏でる響(ハーモニー)」を開催。
- 2002年 小学生親子400名に参加頂き「地域の親づくり事業」を開催。
- 2004年 地域の人々に感謝の気持ちを込め、45周年記念事業感謝祭「光の贈りもの」を開催。
- 2006年 子ども達に日本の伝統、道徳について学んでもらうために「みんなぞでたてよう! みき二二ヨ」を開催。
- 2007年 地域の人々が住むまちに愛着を持ち続ける事ができるよう、みんなぞ知ろう!! 魅力溢れる三木「発見」探そうこのまちの宝物を開催。

2009年(社)三木青年会議所は創立50周年を迎えます!